



profile

昭和41年12月7日生まれ。
趣味は読書。落ち着く時間は、
図書館に行って本に囲まれ、
本の匂いを感じながら読んで
いる時。52歳。

いつまでも安心して暮らせるような
認知症サポートの支援を

Spotlight

スポットライト



洞爺協会病院看護師長 認知症看護認定看護師

高場 真佐美さん

「認知症の人はもちろん、その介護をする家族の人に寄り添って話を聴き、安心できるようなサポートをしていければと思います」
認知症の人や認知症を支える家族のサポートについての思いを語るのは、洞爺協会病院認知症看護認定看護師の高場真佐美さん。7か月間の研修を経て、試験に合格。西胆振で認知症看護認定看護師の資格を持っているのは、現在2人となります。

高場さんは、余市町の出身で、高校卒業後、伊達赤十字看護専門学校に入学し、21歳のときに看護師になりました。2つの病院を経験し、2013年から洞爺協会病院に勤めています。
「高齢化社会が進み、受診や入院する患者は高齢の人が多く、その中でも認知症や認知機能が低下した人への個性のあるケアや家族の不安を緩和する支援に困っていました」と悩んでいた時期がありました。

認知症について知識を深めようと近隣で講師を探しましたが、当時、西胆振には認知症看護認定看護師が0人。誰もいないのなら自分がと決心し、昨年の7月に認知症看護認定看護師となりました。
現在は、院内の認知症看護の先頭に立ち、看護スタッフに指導や助言をする立場となり、院内の支援体制の強化を図っています。

「資格を得てからは、認知症の患者やその家族へそれぞれに適したサポート方法を考えられる引き出しが増えました」と資格を得て約1年ですが手応えを感じています。

「勉強してきた知識を院内だけでなく、講演会や介護・健康教室などへの参加を通して、洞爺湖町に還元していきたい。認知症を抱えている人、その家族が洞爺湖町で安心して暮らせるようなサポートをしていきたい」と語り、安心して暮らせる認知症サポートの支援体制の貢献を目指しています。

東奔西走



春 っぽい気温となりポカポカしてきた今日この頃。この時期の晴れている洞爺湖は、湖の青と中島の緑がすごくきれいなので、一度見てみてください。(C.K)

4 月から広報を担当することになりました。わからないことばかりですが、町民の皆さんに親んでもらえるような広報を作っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。(M.O)

今月のワンショット



元気いっぱいに返事の練習をする
とうや小学校の新1年生